

からだで聴こういい音を

Listen to Good Vibration, Feel Good Vibration & Give Good Vibration for Happy Peaceful Life
サウンドヒーリング協会(The Society For Sound Healing) 2001年3月設立

【3つの提案】

私から始める心の平和 one's peaceful mind creates peace on earth

心が平和になる3つの方法 — 3 Ways for Peace Creating

すべてと調和し喜びを創造する Harmonic Alignment

1. 自然音 *Peace Creating Sound* ———— 空間を快適にする音 *Harmonic Ambience*
2. 体感音響 *Peace Creating Machine* —— 体が喜ぶ細胞レベルのマッサージ *Harmonic Massage*
3. 呼吸と声 *Peace Creating Voice* ———— 高次元の響きに共鳴する声 *Divine Resonance*

サウンドヒーリング協会

【会 長】中村 泰治（昭和大学名誉教授、理学博士）

【理事長】喜田 圭一郎（株式会社ジョイファンデーション代表取締役）

【理 事】Stan Altman（Ph. D. Baruch College NewYork President）

上野 圭一（翻訳家、日本ホリスティック医学協会副会長）

河野 渡（河野デンタルクリニック院長、歯学博士）

【アドバイザーブレイン】（五十音順）

合田周平（電気通信大学名誉教授 工学博士）、有田秀穂（東邦大学医学部統合生理学教授 医学博士）、池川明（池川クリニック産婦人科・内科 医学博士）、岩本耕太郎（内科医、帝国クリニック院長）、雄谷紀子（知的障害施設仏子園園長）、大山孜郎（耳鼻咽喉科、医療法人大山医院、医学博士）、岡見圭（(株)ペットオフィス代表）、奥健夫（工学博士、意識情報研究所）、長内博雄（武蔵野東教育センター所長、前武蔵野東中学校校長）、勝木道夫（医療法人社団勝木会やわたメディカルセンターグループ代表）、亀井勉（ドイツ州立ヨーロッパ大学ヴィアドリーナ教授）、神山純一（作曲家、編曲家）、川津靖人（川ばた整形・医学博士）、Mitchell Gaynor（M.D. Board Certified in Medical Oncology, Hematology and Internal Medicine）、小松明（体感音響研究所主宰）、作左部紀子（獣医師）、信田広晶（心療内科 しのだの森ホスピタル理事長）、下雅意巖（元東洋メディアリンクス(株)代表取締役会長）、杉本英夫（桐蔭横浜大学スポーツテクノロジー学科教授、医学博士）、橘秀樹（千葉工業大学教授、東京大学名誉教授、工学博士）、高橋全（作曲家、編曲家）、田畑晃（田畑眼科医院院長、工学士）、銅金祐司（東京藝術大学先端表現科非常勤講師）、堂園晴彦（堂園メディカルハウス院長）、内藤平（弁護士）、中村鶴城（琵琶奏者）、Chikako Hoshino Powers（Academy of SMART Therapy Owner）、松下裕子（京都橘大学 看護学部教授、医学博士）、森千鶴（鍼灸師、キネシオロジスト、植物療法士）、山口宣夫（金沢医科大学 大学院代替基礎医学 教授・医学博士）、湯川れい子（作曲家、音楽評論家）

【賛同者】（五十音順）

Constantin Ailioaie（MD.PhDルーマニア在住 小児科医師）、伊藤修（医学博士）、小川圭一（企画音楽プロデューサー）、大塚めぐみ（ウィーン在住ピアニスト）Robert Calley（HB Playwrights Foundation Theater Managing Diredtor）、Hiroyoshi 川岸（音楽家）、素野哲（ジェイ・エム・エス(株)代表取締役会長）、龍村ゆかり（映画ガイアシンフォニープロデューサー）、Amy Tanaka（ハワイ島在住）、Tina H.E.Czech（Clinical Consultant&Educator）、所れい（RHIヒーリングハープセンター代表）、Francois Du Bois（Composer）、中山一郎（理学博士）、日野原重明（医学博士）、増井光子（獣医学博士）、水野圭一郎（工学博士）、三井石根（医学博士）、本山博（文学博士）、葉祥明（絵本作家）、他

2011.10.01 現在



音・このふしぎなもの

胎児は子宮のなかで音を聞いている。まだ視力が安定するまえから、胎児は味覚とともに聴覚をじゅうぶん発達させているという。なぜなのか？あらゆる種類の動物とおなじく、聴覚と味覚が生存のために不可欠な感覚だからだ。環境の音を聞きわけ、食物の味を識別して、危険を回避し、少しでも生存に有利な方向に動こうとするからだ。

聴覚はまた、臨終の人に最期まで残存する感覚でもある。他のすべての感覚が失われても、聴覚だけは最期の最期まで働きつづける。なぜなのか？意識が溶暗するとき、生存への羅針盤になるのは音だけだからだ。

だからむかしの人は、死の床にある仲間の耳元にむかって「枕経」なるものを読み聞かせた。『チベットの死者の書』のような、死後の世界へのガイドとなるお経だ。これからあなたが体験する死後の世界はけっして怖いものではない。ただ、いくつか注意すべき点があるので、これから教えよう。その注意点だけをよく心得て、あとは安心して旅立っていきなさい。枕経は臨死の人にやさしくそうアドバイスする。

音は人生でもっとも長い時間あなたのそばにいつづける、あなたの最良の伴侶である。人工的な無響室にでも入らないかぎり、誕生まえから死の淵にいたるまで、あなたはなんらかの音とともに有限の時間を過ごす。

人を苛立たせ、傷つける音がある。恐怖を呼び起こし、絶望をまねく音がある。胸を高鳴らせ、涙を誘う音がある。やすらぎをもたらし、傷を癒し、痛みをやわらげ、眠りに誘う音がある。

人はそれらすべての音から「聞きたい音」をある程度選ぶことができる。住む家によって音は変わる。行く場所によって音は変わる。ライフスタイルによって音は変わる。つきあう人によって音は変わる。乗り物によって音は変わる。スイッチやリモコンやキーボードの操作によって音は変わる。意思によって変えられる。

音は耳と脳だけで聞いているわけではない。皮膚でも、内臓でも、骨でも、音を聞いている。音の波動が細胞・組織・血管・リンパ管などの水分を共振させ、骨をつうじて伝導し、脳の各所の中樞を興奮させ、鎮静させている。それらの複雑な共振作用がその人の生理状態と心理状態と霊的状态につねに変化をもたらしている。

何十年も音による癒しの方法を探究してきた喜田圭一郎さんが、その経験と知識を総動員して完成させたヒーリングバイブレーションは、からだどころとたましいを心地よく振動させ、その人がそのときにあるべきような、独特の境地とバランス状態をもたらしてくれる。その可愛く小さなマシンにはまだまだ未知の可能性がひめられている。



Sound Healing

Listen to Good Vibration
Feel Good Vibration &
Give Good Vibration
For Peaceful Joy of Life



サウンドヒーリング協会 理事
日本ホリスティック医学協会副会長
上野 圭一